



【Nivolumab+Ipilimumab療法について】

(オプジーボ、ヤーボイ)



ID: _____

様

1

コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
オプジーボ注	免疫力を高める薬	30分																					
ヤーボイ注	免疫力を高める薬	30分																					

1日目

😊 **治療による副作用**

オプジーボを使用されている方へ

オプジーボ使用中に気をつける症状

- オプジーボ投与に注意が必要な方
- 間質性肺炎と診断されたことがある方
 - 自己免疫疾患と診断されたことがある方
 - 臓器移植 (造血幹細胞移植を含む) を受けたことがある方
 - 結核にかかっている方、または過去にかかったことがある方

オプジーボの点滴後に以下のような症状が起こることがあります。
症状がみられたら、医師へ相談してください。

いつもより疲れやすい (倦怠感)、体重の増減、行動の変化がある (性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすいなど)、からだがだるい、頭痛、食欲不振
▶ 甲状腺、下垂体、副腎など内分泌機能異常の確認が必要です。

めまい、動悸、脈拍の異常、意識の低下
▶ 心臓障害の疑いがあります。

皮膚や白目が黄色くなる
▶ 肝臓障害の疑いがあります。

尿量が減る、血尿が出る、むくみが増える
▶ 腎臓障害の疑いがあります。

口渇、多飲、多尿
▶ 1型糖尿病の疑いがあります。

運動のまひ、感覚のまひ、手足のしびれ、手足の痛み
▶ 神経障害の疑いがあります。

息苦しい、足・腕に力が入らない、ものが二重に見える、筋肉痛
▶ 重症筋無力症、筋炎、筋肉の融解を起こすことがあります。

咳がずっと、痰が出る、寝汗をかく
▶ 結核に感染している疑いがあります。

嘔吐、体の痛み、精神状態の変化
▶ 脳炎の疑いがあります。

皮膚にあざがでやすい、口や鼻から血が出やすい、寒気がする、顔色が悪い
▶ 血液障害の可能性がります。

白斑、白髪 (主にメラノーマの患者さん)
▶ 肌や髪に脱色があることがあります。

下肢の腫れ、むくみ、痛み、胸痛
▶ 静脈血栓症の疑いがあります。

痰のない乾いた咳が出る、息苦しい歩行時などに息が切れる
▶ 間質性肺炎の可能性がります。症状がみられたら、風邪と見えず、ご相談ください。

血便・黒い便が出る、腹痛を伴う下痢、吐き気や嘔吐
▶ 大腸炎、小腸炎の可能性がります。

皮膚がかゆい、発疹が出る、水ぶくれが出る、ひどい口内炎
▶ 皮膚障害 (重症を含む) の可能性がります。

肺、肝臓、腎臓、皮膚、消化管などに対する過剰免疫反応により発熱することがあります。

和歌山県立医科大学 呼吸器内科・腫瘍内科 教授 山本 信之 先生

* 玄関の内扉や冷蔵庫などの目につきやすい場所に貼ってください。

オプジーボを使用されている方へ

オプジーボ使用中に気をつける症状

- オプジーボ投与に注意が必要な方
- 間質性肺炎と診断されたことがある方
 - 自己免疫疾患と診断されたことがある方
 - 臓器移植 (造血幹細胞移植を含む) を受けたことがある方
 - 結核にかかっている方、または過去にかかったことがある方

オプジーボの点滴後に以下のような症状が起こることがあります。
症状がみられたら、医師へ相談してください。

呼吸器

- 歩行時などに息が切れる
- 息苦しい
- 痰のない乾いた咳 (空咳) が出る
- 咳が長引く、痰が出る

皮膚

- 皮膚や白目が黄色くなる (黄疸)
- 白斑
- かゆみや発疹
- 水ぶくれが出る

循環器

- 動悸
- 脈拍の異常

筋肉・神経系

- 足、腕に力が入らない
- 筋肉痛
- 運動のまひ
- 感覚のまひ
- 手足のしびれ
- 手足の痛み

消化器

- 便に血が混じる、便が黒い
- 吐き気や嘔吐
- 腹痛を伴う下痢
- 食欲不振

泌尿器

- 尿の量が減る
- 血尿が出る
- 尿の量が増える

その他

- いつもより疲れやすい (倦怠感)
- 体の痛み
- 行動の変化がある (性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすい等)
- 体重増加あるいは体重減少
- むくみが増える
- のどが渇く
- 皮膚にあざがでやすい、口や鼻から血が出やすい
- 水を多く飲む
- 体がだるい
- 精神状態の変化 (倦怠感)
- ひどい口内炎
- 下肢の腫れ、むくみ、痛み
- ものが二重に見える
- 見えにくい
- めまい
- 意識の低下
- 寒気がする
- 顔色が悪い
- 頭痛
- 寝汗をかく

肺、肝臓、腎臓、皮膚、消化管などに対する過剰免疫反応により発熱することがあります。

和歌山県立医科大学 呼吸器内科・腫瘍内科 教授 山本 信之 先生

* 玄関の内扉や冷蔵庫などの目につきやすい場所に貼ってください。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

小野薬品HP

オプジーボ使用中に気をつける症状より参照

香川大学医学部附属病院薬剤部